

えろ♥めるへん

まんだ林檎

西遊記外伝

水恋華

すい

れん

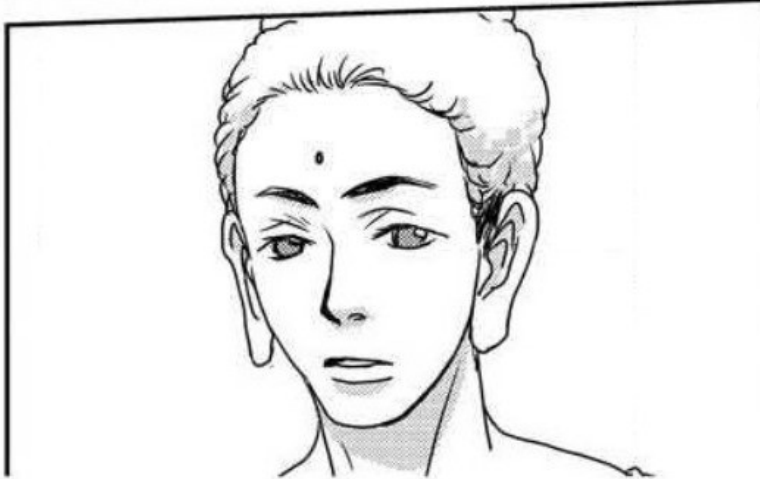
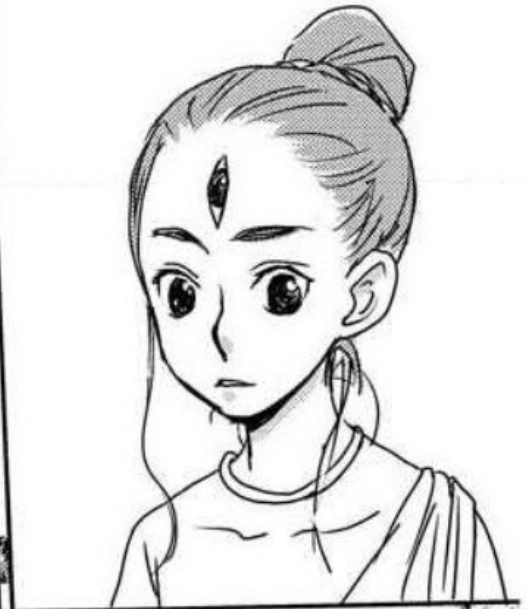
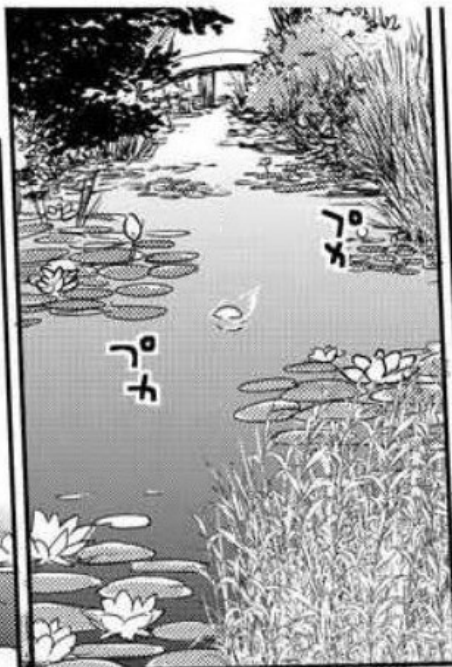
か

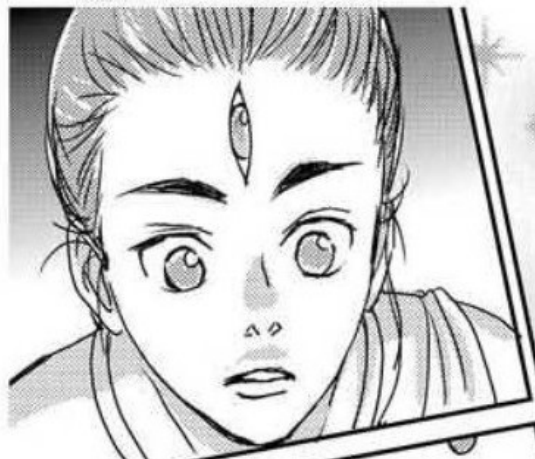


えろ♥めるへん

西遊記外伝

水恋華
すい れん か





オーン
 ओम
 ड़ेवखड्डया
 वाइदमहे
 वासुदेवाय
 धीमहि
 तन्नो
 कृष्ण
 प्रचोदयात्

ओम
 ड़ेवखड्डया
 वाइदमहे
 वासुदेवाय
 धीमहि
 तन्नो
 कृष्ण
 प्रचोदयात्



ओम
 ड़ेवखड्डया
 वाइदमहे
 वासुदेवाय
 धीमहि
 तन्नो
 कृष्ण
 प्रचोदयात्

これはまだ

孫悟空が
三蔵法師と出会う前
天界で大暴れしていたころの
お話…



ほおお!

小僧つ子を
出してくるとは
天界の人事も
尽きてきたか!



ほざけ!
貴様こそ妖の分際で
ここまで神々を愚弄して
タダで済むと思うなよ!



托塔天王 三男
哪咤太子

成敗して
くれるッ!



二郎真君も
見ている...



おどろおどろ

こっぴど

負けられせん!!!



筋斗雲!



さーてっ!
何分もつかかな?

その大口
いつまで
叩けるか!







哪咤
まだ落ち込ん
でるのか？

ずん

そう落ち込むなよ
あいつには
托塔天王だって
手を焼いてるぐらい
なんだからさ



初陣だっ
ちけだし...

木叉：
クソ猿は：
どうなった？

ああ：
二郎真君が
なんとか
捕えたよ

だいぶ手こずったが
なんとか捕まえて
今は八卦炉に放りこんだ
ところだ

さすがに
不死身といえども
金属も溶かす
八卦炉に入れたら
三日ともたぬだろうよ

二郎が!?



太上老君が
新しい金丹と絡に
練ってやるってイキ
まいてたぜ

ケケケケ

真君は
いま 灌江口で
祝勝の宴を
やってる
お前も行ったら
どうだ

どのツラさげて
会いにいけとっ!

二郎が恋しくて
女体化までしたと
いうのに?

親父殿だって
しらいでか
だからいまままで
元服もせず
頑張っておるの
だろう!?

一途な
ものよの!

!!!

やめろっ!

生臭坊主!

なんとでも



死ね！
木叉！

カ
カ
カ

ど
あ
あ
あ

ブラコン
こじらせて
観音菩薩に帰依
させられた俺に
今更なにを…



手間の
かかる…



行ったか…

やれやれ



哮天！
覚えてて
くれたの
かい!!

ワ
ワ
ワ

び
び
び



こっ
このたびのご武運
真におめでとう
存じます

そなたにしよう
あー

あーよいよい
心にもないこと

惜しかったな
相手がアレじゃ
なかつたら
勝てたらうに

托塔天王も
意地が悪い
初陣にあんなのを
当てさせるとは

ふう

あ
あ
あ

あー
あー
あー





二郎真君！
貴様酔ってる
だろっ!?

いささか
機嫌がいいのが
ばれたか？



あの暴れん坊を
ようやく捕えて
祝杯をあげてる
ところに
200年ぶりの友が
来たのだ

まあ
友と
思っているのも
一方のみかも
しれんがな



哪咄
もう戦いは終わったのだ
その鎧も脱いたら
どうだ？

こっこれは
いいのだ！

コン
コン



勝って…

本当は
勝って会いに
きたかったんだ

どうした？
元気ないな？
久しぶりに
会ったというのに



ちやんと
一人前と認めて
もらえるように
なつてから…

カカカカ

それじゃ
あと何百年
かかるんだか

お前が
そらやつて
子供扱いするから
私はっ！

ごめん

ぬがせ！

ごめん
つてば



キレてたが
きいてたが





あらあら
こんなところに
いらしたんですか
真君様

地湧夫人

主役がいなくて
みなさま
お捜しですわよ

すまん
すまん

まあ
哪咄太子様も
いらしたん
ですか？

ド
キ



さあ
お二方とも
あちらに

グ
ン

心にもない
世辞など
いらん！

おほほほ
まあお気持ち高く
持たれるのは
よろしいことです
わね

さあさ

見事な
戦いでしたよ

お
お
哪咄太子様！

ウ
ー



ほら、おの言葉もきかせて下されニ

お久しぶりですな
今日は無礼講
ですぞ！

悪かっただけで
堂々とした
戦いっぷり
でしたわ

おお
哪咄太子様！

さあ
あちらに



二匹のー
どっちへ行って
おて来たのだー



ちや
ほや

ちや
ほや

あのにつくき
猿めのせいで
大事な蟠桃会が
台無しになって



だから
あんなに
頑丈だった
のか！

まことに！
金丹も
一粒残らず
平らげたとか…



ああ

西王母
さまからのナニニお
ごすまじや

真君様
もう一杯
どうぞ



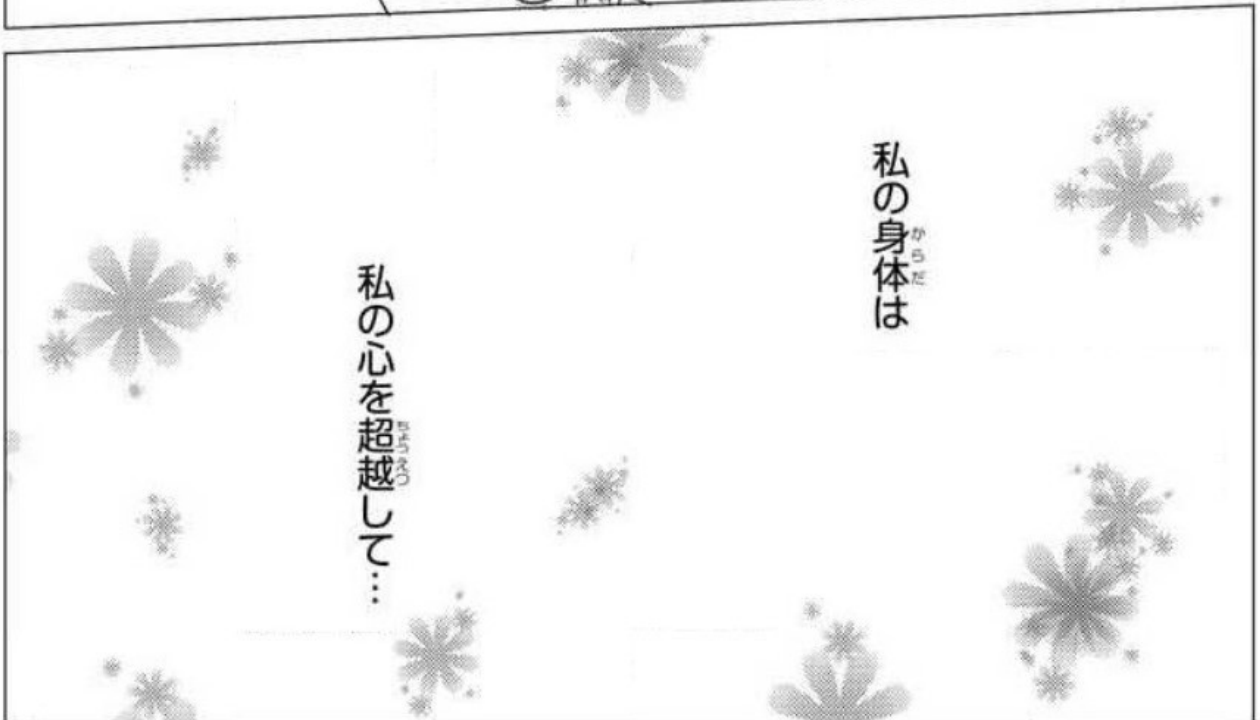


いつからだろう
二郎真君を
愛しく思うようになったのは…



想いは
少しづつ積みもり

もう
覚えていない昔から…



私の身体は

私の心を超越して…





みみみみみ



まがー！まがー！



見てないっ
お前はなに
も見てないよな！

み？

あわてるな
なにもしてない
とこで乳が丸見たいよ



触った！
触ったんだ！

アホ拔かせ
あんなマシユマロ
みたいな胸筋あるか



なんだ？
お前のDカップの
ことか？

ははは！
すごい胸筋だろう！
鍛えたからな！





かわいいよ



あ



んん



逃げるな

あん
やだん
みみ...



あっ

やあ

あ

もっと
可愛い声
聞かせて



あっ

あっ

はっ

ズ
ズ



あっ

私のことを想って...
女体化したと
思っているの？



私は…
友達なんじゃ
ないのかよっ

だから
そんな風に
思ってたのは
お前だけだろ？

え？

私は
お前を友達だと
思ってたことなど
一度もないよ

ぐいぐい

きやつ



ほら お前の
身体の方が
正直なんじゃ
ないのか？

下のお口はこんなに
グチヨグチヨだぞ

あ

あつ

ふうっ
ん…

ぐいぐい

ぐいぐい

ん

ぐいぐい



なに?
やめてほしいの

聞こえる?
こんなに
いやらしい音
してるよ?

いやっ

あつ...やっ



なに?

こゝ...



じゃあ手で
いつちやう?

気持ち
いいの!

どっち?

いいの...



じろろろ...

すき...!!

好き...!!

ッ

ッ

ッ

ッ



この子は
昆沙門天の娘
じゃないか…



たいへん醜い
肉塊として
生まれてきたと
いう

海で湯浴み
していたら
東海竜王に
嘲笑われた
らしい



お釈迦様あ
この子を
助けてください



それを怒った
その娘は
無様な姿のまま
竜王の娘を
殺したのだ



さらにそのことを
父の昆沙門天は
怒った

なにっ
竜王の娘を
殺したと！



なんて
無様な姿の女だ

どれだけ洗っても
我が娘のようには
なるまいっ



ならば私は
私のこの体を
引き裂いて
詫びましょう！

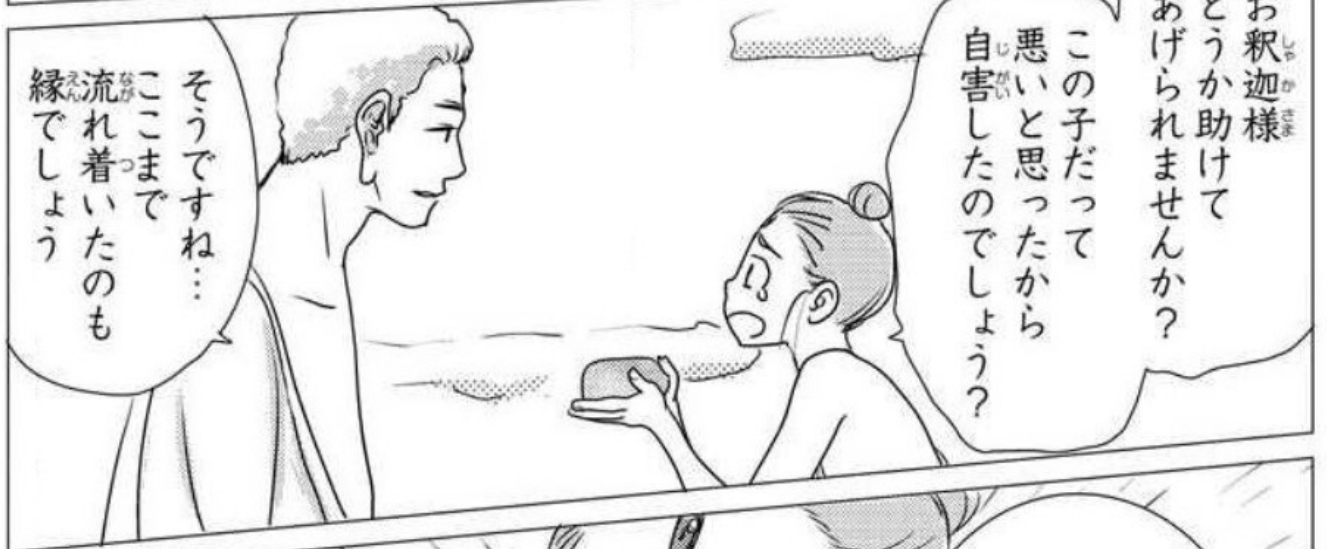
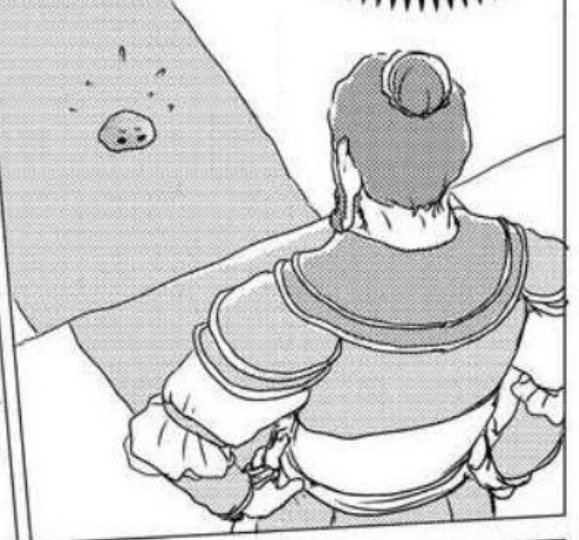


醜いだけなら
まだしも
なんてことを
してくれたんだ！
女のくせに！
わしは本当は
男子しか
いらぬのだ！



だからと言って
殺していいわけでは
ありません

そんな…
はじめに
怒らせたのは
竜王じゃないか



そうですね…
ここまで
流れ着いたのも
縁でしょう

お釈迦様
どうか助けて
あげられませんか？
この子だって
悪いと思ったから
自害したのでしょうか？



好きな形に
なれるよう
手助けして
あげましょう



蓮はす！

蓮のように
美しい子に
してあげて！

誰にも
疎こまれぬ
ように！

もう
見目形みめがたで
苦しませぬ
ように！




なのに：
生まれ変わった君は
男の子だった



よほど お父様に
愛されたかったん
だろうね

だからいつか
私が呪いのろいを
解いてあげようと
思ってたんだ



本当の
女の子として
愛してあげよう

本当の君^{きみ}を
知ってるのは
私だけなんだから



本作品を無断転載・複製・複写・翻訳は
著作権法上の例外を除き、禁じます。

作者へのお手紙はこちらまで★

〒162-0844

東京都新宿区市谷八幡町 14 番地
市ヶ谷中央ビル 3F

株式会社 ZITTO
出版部